



さおを振り、するめ釣りのまねをする子どもたち

するめっこ釣り

1月15日 [尾崎白浜地区]

尾崎白浜地区恒例の小正月行事が行われ、鉢巻き姿で威勢のいい漁師に扮した地区の園児や小学生12人が、干しイカなどをぶら下げた釣りざおを手に、地区内を練り歩きました。子どもたちは家々で「するめっこ釣らせてください。」と声を響かせ、豊漁と安全を願いながら笑顔と元気を届けていました。

釜石魚市場初売り式

1月4日 [釜石魚市場]

初売り式では、魚市場関係者などが復興への決意を新たに鏡開きを行い、新年のスタートを祝いました。式の後、水揚げされたサケやスルメイカなどのケースが多数並び、早速初競りが行われ、多くの買い受け人はつらつとした掛け声で市場は活気づいていました。



買い受け人が集まった初競り

釜石市成人のつどい

1月12日 [釜石高校体育館]

平成5年4月1日から同6年3月31日までに生まれた新成人のうち292人が出席。式では、野田市長や海老原市議会議長らが新成人にはなむけの言葉を贈り、高校の恩師によるビデオレターが紹介されると、新成人たちの笑顔が広がりました。また、新成人を代表して岡田剛志さんが抱負を述べ、大人としての責務や復興への貢献を誓いました。



市民憲章を朗読する新成人



長さ20.19mのロールケーキ作りを楽しむ参加者

釜石冬の味覚まつり

1月18~19日 [シープラザ遊]

今回から震災前の名称に戻して行われたイベントは、東海市の協力で2019年のラグビーワールドカップにちなんだ長さ20.19mのロールケーキ作り、第2回おいしい釜石コンテストも併催し盛り上がりを見せました。このほか、おなじみの横手市の出前かまくら、早食いを競う釜石ラーメン腹ペコまつり、友好都市物産展などが行われ、会場内は終日にぎわいました。



来場者でにぎわう物産展



「おいしい釜石」作品を紹介する出品者

釜石市消防出初め式

1月5日 [大町など]

シープラザ遊での式典に続き、約660人の消防団員のほか、消防車やはしご車など48台による分列行進が、3年ぶりに大町目抜き通りで行われました。団員らは沿道の市民が見守る中、力強く頼もしい姿で行進を行い、災害のない安全なまちへの心意気を示していました。



整然と行進する消防団員